

朝日放送ラジオ株式会社

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	1,057,396	流動負債	301,409
現金及び預金	742,749	未払金	188,923
受取手形	9,124	未払法人税等	7,480
売掛金	287,700	未払消費税	41,132
番組勘定	1,963	前受金	30,323
貯蔵品	38	預り金	18,553
その他	15,819	その他	14,996
固定資産	901,538		
有形固定資産	806,714		
建物	74,229	負債合計	301,409
構築物	7,699	純資産の部	
機械及び装置	323,768	株主資本	1,657,525
車両及び運搬具	0	資本金	10,000
工具器具及び備品	42	利益剰余金	1,647,525
土地	400,974	利益準備金	2,500
無形固定資産	67,884	繰越利益剰余金	1,645,025
ソフトウェア	28,079		
のれん	39,805		
投資その他の資産	26,940		
長期前払費用	1,300		
繰延税金資産	25,640	純資産合計	1,657,525
資産合計	1,958,935	負債・純資産合計	1,958,935

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

注記表

1. 重要な会計方針

1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

番組勘定

: 個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

貯蔵品

: 最終仕入原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産 : 定額法

なお、主な耐用年数は、建物が10～50年、機械及び装置が5～15年であります。

②無形固定資産 : 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年～10年）に基づく定額法を採用しています。

3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

①外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算方法

外貨建金銭債権債務は、事業年度末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

②消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

4) 収益及び費用の計上基準

当社は、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。当社はラジオ放送事業を主な事業としております。主な履行義務は、顧客との契約に基づき、聴取者に番組と広告を放送することであり、放送された時点で履行義務が充足されることから、当該時点で収益を認識しております。

5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

①金額の記載方法

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

2. 収益認識に関する注記

通常の支払期限は、履行義務を充足した後請求月から概ね1ヶ月以内です。

履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は、重要な会計方針に記載のとおりです。

3. 当期純損益金額

27,909千円